《発行日》平成27年３月25日　第22号
【バックナンバー】　http://www.city.setagaya.lg.jp/
世田谷区ＨＰにて「防災せたがや　世田谷地域版」で検索

《発行者》　世田谷地域区民防災会議
《事務局》　世田谷総合支所地域振興課
地域振興･防災　　電話 5432-2831

防災せたがや 世田谷地域版

東京消防庁・世田谷区合同総合水防訓練を実施しました

↑　ヘリコプターを使った水難救助訓練の様子

平成26年5月23日㈮、世田谷区野毛2丁目の世田谷区立多摩川遊園において、東京消防庁・世田谷区合同総合水防訓練を実施しました。

この水防訓練は出水期に備え、台風や集中豪雨等による被害を軽減するために、各関係機関が連携することで、水防活動能力を高めることを目的とした訓練であり、本年度は、世田谷区として7年ぶりの東京消防庁と合同の大規模訓練となりました。

当日はヘリコプターを使った水難救助訓練や土砂災害救助訓練等のほかに、住民参加型の訓練も行われ、世田谷・北沢地域の町会・自治会の方々にもご参加いただきました。

天候にも恵まれ、約750名の方々にご参加いただき、例年にない実践的な訓練となりました。

↑　土砂災害救助訓練の様子

東京消防庁との合同の大規模な訓練ということで、当日は救助ヘリコプターや消防車両、重機が多数使用され、見学に来ていた子供たちも大きな歓声をあげて見学していました。

越水防止を目的とした積み土のう工法の様子

回覧

◆◇ 防災塾の実施について ◆◇

改正災害対策基本法（平成26年4月1日施行）では、地域における共助を推進する観点から、地区防災計画制度が新たに創設されました。本制度は、自治体が策定する「地域防災計画」と住民や事業者などが提案する「地区防災計画」の連携を促し、地域の特性に応じた計画を策定することを目的としたものです。すなわち、住民の意向を強く反映することができるボトムアップ型の仕組みができたことになります。

防災塾は、東日本大震災を契機とした区民の自助・共助の高まりを受け、平成25年度に始まった事業で、昨年度は、区内5地域で外部講師を招き、防災に関する講演会を実施しました。先に挙げた背景から、平成26年度～29年度は各出張所・まちづくりセンター管轄地域ごとに、住民による「地区防災計画」の策定を促すことを視野に入れながら事業を展開していきます。

平成26年度の活動

町会・自治会など地域活動に参加いただいている居住者を中心に声がけし、“発災後72時間は地区の力で乗切る”をスローガンとして、災害時に想定される様々な課題を発見することを目標にグループワークを実施しました。なお、実施にあたり大学や防災関連のシンクタンクに講師をお願いしました。

↑　上町防災塾の様子（6月29日実施）

↑　池尻防災塾の様子（11月29日実施）

◆◇ 世田谷地域防災研修会の報告 ◆◇

平成26年10月14日㈫に世田谷区役所第3庁舎ブライトホールで防災研修会を実施しました。当日は防災リーダーの方や、町会、自治会から71名の参加がありました。

研修会では仙台市立東六郷小学校校長の鈴木一彦先生と明治大学政治経済学科・危機管理研究センター特任教授の中林一樹先生にご講演いただきました。

鈴木先生は2011年の東日本大震災以降、赴任先の学校で避難所運営や震災後の子供のケアを経験され、現在は東六郷小学校の校長としてご活躍されており、「東日本大震災の避難所運営を経験して」というテーマでご講演いただきました。

中林先生は都市防災学、災害復興学、都市計画学が専門で、様々な自治体と連携し、実践的な研究に取り組んでおり、「想定外を想定し、備えよう」というテーマでご講演いただきました。

参加者からは「実際に避難所運営を経験された鈴木先生の講演は今後の参考になった」「中林先生の講演を聞いて自助の重要性が理解でき、自宅を思いうかべながら、いかに対策できないか実感できた」などの感想や意見が出され、大変実りのある研修会になりました。

◇ 鈴木　一彦　先生　（仙台市立東六郷小学校校長）

大震災の避難所運営を経験して

○常日頃の心と物の準備が大切
○いつ、いかなる時でも、冷静に判断・行動できるように
○家族との連絡方法や自分の立場を話しておくと・・・
○ライフラインが復旧するまでその場にあるものを生かして
○通信連絡方法は・・・区役所等に近ければ自転車で
○予備の着替え→季節にもよりますが・・・
○心と体は、当たり前ですが、いつも健康でいられるように
○学校に頼り切らない、地域のつながりがとっても大事
○いろいろな対応がうまくいくように、行政職員も学校教職員も同じ被災者として見ていただくと・・・

◇ 中林　一樹　先生　（明治大学政治経済学科・危機管理研究センター特任教授）

「想定外」は二つある

①被害想定（公表）を上回る事態の発生
　想定外の過酷な災害（巨大災害）の発生
②予想もしていない事態の発生
　＊自分が被災者になるなんて、想定もしていなかった？
　その人はどのような『想定』をしていた？
　『自分が被災した状況を想定しているか』

◆◇ 防災視察研修会の報告 ◆◇

平成27年2月2日㈪に東京都墨田区にある「東京消防庁本所都民防災教育センター本所防災館」と港区にある「芝浦水再生センター」で防災視察研修会を実施しました。

本所防災館では都内で唯一体験することのできる暴風雨体験（当日の体験は暴風のみ）や浸水時の水圧ドア体験をはじめ、火災の映像に向かって放水する消火体験、東日本大震災や阪神淡路大震災等の揺れを体験できる地震体験の訓練をしました。

芝浦水再生センターでは講義と施設見学を通じて、都市型水害や、家庭・工場の廃水が再生され、きれいな水になるまでの過程を学びました。

↓ 暴風体験・水圧ドア体験の様子 →

↓ 芝浦水再生センター見学の様子

◆◇ 医療救護を取り入れた避難所運営訓練 ◆◇

今年度、世田谷地域では桜丘中学校と駒沢小学校の2校で医療救護を取り入れた避難所運営訓練が行われました。

桜丘中学校と駒沢小学校は、区内で20か所（世田谷地域では5か所）ある災害時医療救護所に指定されており、災害時は必要に応じて、区からの要請により医師や看護師等が派遣されることとなっています。

桜丘中学校ではトリアージの実演を取り入れた訓練が、駒沢小学校では講演形式の訓練が行われました。

桜丘中学校のトリアージの実演を取り入れた訓練（右）と、駒沢小学校の講演形式の訓練（下）の様子

◆◇ 救命講習会を実施しました ◆◇

↑ 9月18日の上級救命再講習会の様子

平成26年9月18日㈭に上級救命再講習会、10月16日㈭に上級救命講習会を世田谷消防署にて開催し、総計55名が受講しました。

防災区民組織及び区立小中学校のＰＴＡの方々を対象に実施し、心肺蘇生や自動体外式除細動器（ＡＥＤ）、それに加えて上級救命講習会では傷病者管理、外傷の応急手当等の指導を受けました。

両日とも多くの方々にご参加いただき、いざという時に最善の応急手当や救急処置が行えるよう、受講者の方々は真剣に取り組んでいました。

◆◇ 世田谷区防災マップアプリの紹介 ◆◇

紙のマップや世田谷区役所のホームページ上で提供している『災害時区民行動マニュアルマップ版』をスマートフォン用アプリとして公開しました。（無料）

あらかじめスマートフォンにインストールしておくことで、通信ができない状況でも地図の確認等ができます。利用可能な端末をお持ちの方は、ぜひダウンロードしてください。

1．防災マップ機能

事前に地図をダウンロードするため、通信が利用できない状況でも地図を閲覧することができます。

ＧＰＳ機能がある端末では最寄りの避難所や広域避難所を検索することができます。

2．マニュアル機能

いざというときや、気になったときにすぐ災害時区民行動マニュアルを確認できます。

3．防災メモ

あらかじめ決めた避難所をメモしておくことができ、その避難所近辺の地図を簡単に呼び出せます。

利用者本人や家族のメモを残すことができ、いざというときのために常備薬や血液型をメモしておくことができます。

《利用方法》

・ＧｏｏｇｌｅＰｌａｙダウンロードページ

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.cheeselas.dpmap_setagaya

利用条件：Ａｎｄｒｏｉｄ2.2以上のスマートフォン

・ＡｐｐＳｔｏｒｅダウンロードページ

https://itunes.apple.com/jp/app/id750726964?mt=8

利用条件：ｉｏｓ4.3以上のスマートフォン

※利用の可否はお持ちのスマートフォンの取扱説明書等でご確認ください。
（スマートフォン以外の携帯電話では使用できません）

◆◇ 防災教室（訓練）のご案内 ◆◇

防災教室は町会や学校、事業所などが計画・実施する防災訓練のことで、区民の防災意識の高揚や防災行動力の向上を目的としています。

◇ 地震体験訓練

震度２～７までを体験し、地震の揺れから身を守る方法を学ぶ訓練です。

◇ 初期消火訓練

訓練用の水消火器を使用して消火器の使い方、消火の方法を学ぶ訓練です。

◇ 煙中避難訓練

テント等に煙を充満させて、安全に避難する方法を学ぶ訓練です。

上記のほかにも、発電機や仮設トイレなどの資機材操作訓練、炊き出し訓練、応急救護訓練、防災ビデオの視聴、防災講演等のメニューがあります。

会場や参加人数を考慮して訓練内容をご検討ください。指導者の派遣や資機材、起震車などを準備いたします。防災教室の企画、実施に際して、ご不明な点がありましたら世田谷総合支所地域振興課地域振興・防災担当（℡5432－2831）までご相談ください。

防災訓練
実施までの流れ

訓練内容の検討
↓
地域振興・防災係に
仮予約
↓
訓練実施日の
前月10日までに
防災訓練実施申込書
を送付（予約完了）
↓
訓練当日

※防災訓練実施申込書は世田谷総合支所地域振興・防災担当と出張所、まちづくりセンターで配布しております。また、区ホームページからもダウンロードできます。